学生の確保の見通し等を記載した書類　別紙資料

資料１　　ニーズ調査（学生対象）パンフレット（令和６年度）・・・・　3

資料２　　ニーズ調査（学生対象）調査結果（令和６年度）・・・・・　9

資料３　　ニーズ調査（企業対象）調査結果・・・・・・・・・・・・・　23

資料４　　既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績・・・　35

資料５　　要望書（群馬県）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　37

資料１

【２０２６年４月　開設予定】

※ 設置構想中

掲載内容は予定であり、
変更する場合があります。

群馬大学新大学院（ 博士課程 ）

情報学研究科
パブリックヘルス学環
医理工レギュラトリーサイエンス学環

**群馬大学では 新たな大学院を設置し
社会課題を解決する実践力をもつ
人材の育成を強化します**

1．デジタル分野を牽引する高度専門人材の育成を強化します

2．予測不可能な時代の到来を見据え、分野横断的な高度専門知識・能力を持つ高度専門職業人の育成を強化します

群馬大学の大学院改革（全体像）

改 組 前

- 教育学研究科
- 社会情報学研究科
- 保健学研究科
- 医学系研究科
- 理工学府

改 組 後

- 教育学研究科
- 情報学研究科
- 保健学研究科
- 医学系研究科
- 理工学府
- 食健康科学研究科

パブリックヘルス学環

医理工レギュラトリーサイエンス学環

国立大学法人
群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

情報学研究科（ 博士課程 ）

荒牧キャンパス

情報学プログラム

【学位】博士（情報学） Doctor of Philosophy in Informatics

育成する人材像　～ このような人材を育成します ～

現在の情報技術に深く依存した高度情報社会に対して、その変動の方向性を深く洞察し、これからの社会のあり方を情報技術を支える数理科学の原理もしくは社会理念にまで遡って構想し、情報社会の抱える諸問題について情報科学的な視点もしくは人文社会科学的な視点から解決に貢献できる「先端研究者」および「指導的高度専門職業人」を育成する。

アドミッション・ポリシー　～ このような人を求めています ～

■情報科学・データサイエンス・社会情報学分野について博士前期課程修了程度の理解と優れたコミュニケーション能力を持つ人

■情報科学・データサイエンス・社会情報学分野について強い探求心と主体的かつ持続的に自己研鑽する強い意欲を持っており、これらの分野において社会で指導的役割を担う気概を有する人

■情報科学・データサイエンス・社会情報学分野の動向に一定の見識があり、当該分野で取り組むべき新しい課題や科学技術の開拓の方向性を積極的に提案し、その発展に情熱的に取り組む意欲がある人、もしくは現代社会に氾濫する多種多様な情報を的確かつ選択的に把握し、それを主体的判断に基づいて加工し、新たな情報発信により情報社会に積極的に関わる意欲と情熱のある人

■柔軟な発想で情報科学・データサイエンス・社会情報学分野の課題を設定し、論理的な思考能力と的確な判断能力で課題解決に取り組める人

修了後の主な進路

大学・研究機関、情報通信業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、
電気・情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、
自治体、官公庁、金融機関、運輸業、学術研究専門・技術サービス業、複合サービス業

※【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

パブリックヘルス学環（ 博士課程 ）

昭和キャンパス

社会健康医学プログラム

【学位】博士（社会健康医学）Doctor of Philosophy in Public Health

育成する人材像　～ このような人材を育成します ～

本博士課程では、パブリックヘルスの両輪である実践と研究のいずれの分野でも活躍できる卓越した能力を持ち、健康の格差を是正するための組織的な活動に寄与できる人材を育成する。また、生物統計学や疫学などの手法をはじめ、パブリックヘルスの専門家として必要となる知識・技能を修得するとともに、多様な価値観や倫理観が行き交う現場で課題解決力を発揮するためのマネジメント力を有する高度専門家を育成する。

アドミッション・ポリシー　～ このような人を求めています ～

■地域における多様な健康問題を解決するために必要な専門知識・技術・実践力を獲得し、公衆衛生の分野で研究者、教育者または高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人

■既存の枠組みにとらわれず、様々な手法を融合させて健康に関する課題を解決したいという強い意欲を持つ人

■保健医療・福祉分野に限らず、修士課程修了相当の専門知識や研究能力および語学力を有する人

修了後の主な進路

【 研究・教育機関 】

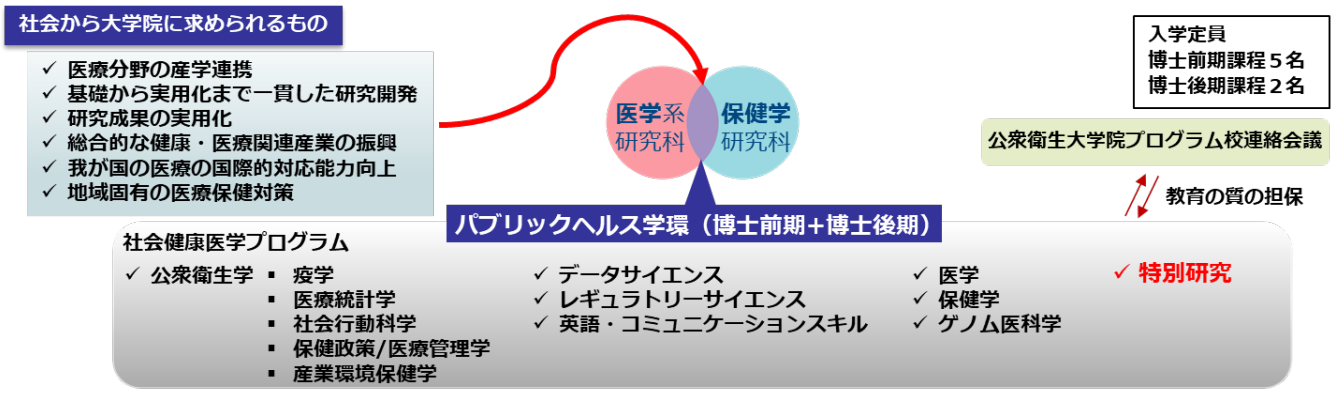
大学の医学/保健学/公衆衛生学系研究科、臨床研究中核病院における教育・研究職

【 公的・非行的機関 】

WHO、各種NGO、保健・医療政策・感染症対策・がん対策課、公益財団法人などの研究機関（例：PMDA：医薬品医療機器総合機構）などにおけるマネージメント職

【 国内外の民間企業 】

製薬会社・ヘルスケア産業・保険会社などにおけるコンサルティング職・マネージメント職



※【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

医理工レギュラトリーサイエンス学環（ 博士課程 ） 昭和キャンパス 桐生キャンパス

重粒子線医理工学プログラム

【学位】博士（医理工学） Doctor of Philosophy in Biomedical Science and Engineering

育成する人材像 ～ このような人材を育成します ～

重粒子線医理工学を一つの軸としたレギュラトリーサイエンスを基盤とし、分野横断的連携により、独創性や創造性に富んだ研究を遂行する能力、確固たる科学的倫理的価値観に基づき協調しながら国際舞台で活躍する能力を育成し、グローバル、さらにユニバーサルに社会に貢献する医理工学にかかわる人材を育成する。

アドミッション・ポリシー ～ このような人を求めています ～

■博士前期レベルの生命医科学・理工学に関する基礎知識を身に付け、語学を含む基礎的なコミュケーション能力を有する人

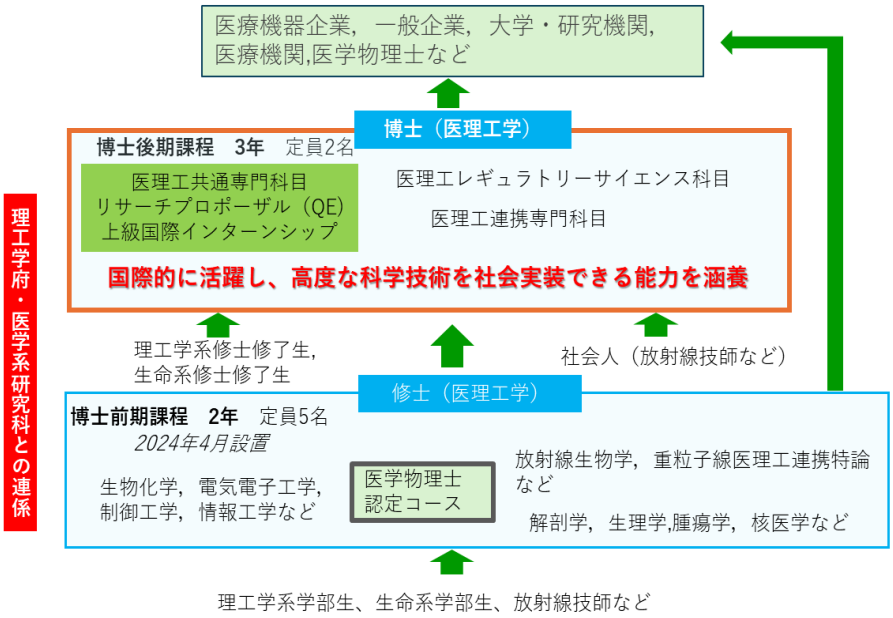
■自らの能力向上を目指し、社会において研究者・高度専門職業人として指導的役割を担おうとする強い意志とレギュラトリーサイエンスによる高い倫理観を有する人

■医理工学の研究者・高度専門職業人として、新たな科学技術の開拓に失敗を恐れずに挑戦する勇気と情熱を有する人

修了後の主な進路

大学・研究機関、医療機関、医学物理士、
産業用電気機械器具製造業（医療機器、電子応用装置）

医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラム（博士課程）



※【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

■ 入学料・授業料（現行）

入学金	282,000円	授業料	535,800円（年額）

※入学金・授業料の免除、奨学金、教育研究補助員雇用などの経済的支援制度があります。

■ 設置場所・アクセス

荒牧キャンパス
〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町４－２

バス
●JR前橋駅北口２番乗り場（関越交通バス ）
□群馬大学荒牧経由渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行 「群馬大学荒牧」下車（所要時間約28分）
□渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行 「前橋自動車教習所前」下車（所要時間約25分＋徒歩10分）

昭和キャンパス
〒371-8511　群馬県前橋市昭和町３－39－22

バス
●JR前橋駅北口２番乗り場（関越交通バス）
□全線「群大病院入口」下車（所要時間約13分＋徒歩６分）
□群大病院行・群大病院経由群馬大学荒牧行、群大病院・南橘団地経由群馬大学荒牧行、群大病院経由南橘団地行「群大病院」下車（所要時間約15分）

●JR前橋駅北口３番乗り場（日本中央バス）
群馬総社駅「群大病院」下車（所要時間約15分）

桐生キャンパス
〒376-8515　群馬県桐生市天神町１－５－１

電車
●JR両毛線にて桐生駅下車、北方へ約2.5km
●東武桐生線にて新桐生駅下車、北方へ約4.1km

バス
●JR桐生駅北口乗り場（おりひめバス）
□旧女子高前行・上菱団地行・梅田ふるさとセンター前行「群馬大学桐生正門前」下車（所要時間約７分）
□菱線右回り「群馬大学桐生東門前」下車（所要時間約７分 ）

●東武新桐生駅乗り場（おりひめバス）
□旧女子高前・上菱団地行「群馬大学桐生正門前」下車（所要時間約15分）

国立大学法人
群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町四丁目２番地

https://www.gunma-u.ac.jp/

※【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

資料２

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

群馬大学では、社会課題を解決する実践力をもつ高度な専門人材を育成するため、大学院の改革に取り組んでいます。以下の大学院については、いずれも令和6（2024）年度に「修士課程」を設置しており、令和８（2026）年度に、新たに「博士課程」を設置することを検討しています。

■ 情報学研究科　■ パブリックヘルス学環　■ 医理工レギュラトリーサイエンス学環

本アンケートは、学生の皆さんの進路選択に関する考え方、大学院で学びたいことなどの意見をお伺いし、群馬大学大学院の教育をより充実したものにするための参考とさせていただくものです。

アンケートで得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ 別紙資料の内容は設置構想中のものであり、名称は仮称です。
今後変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

* 必須の質問です

（１） はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

1。 **１．あなたが所属する大学について教えてください。** *

（例）〇〇大学

2。 **２． あなたが所属する学部・学科または研究科・専攻等について教えてください。** *

（例） 〇〇学部〇〇学科、〇〇研究科〇〇専攻

3。 **３． あなたの学年について教えてください。** *

1 つだけマークしてください。

- 学部 １年次
- 学部 ２年次
- 学部 ３年次
- 学部 ４年次
- 学部 ５年次
- 学部 ６年次
- 修士 １年次
- 修士 ２年次
- その他: _____

4。 **４． 大学（学部・研究科）卒業後の進路をどのように考えていますか。（複数選択可）** *

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] ① 大学院に進学 （博士課程 まで）
- [ ] ② 大学院に進学 （修士課程 まで）
- [ ] ③ 就職
- [ ] ④その他

４の設問のうち、①または②を選択した方に質問です。③または④を選択した方は、５と６の設問は飛ばして次に進んでください。

5。 **５． 志望する大学院の設置者の希望を選択してください。 （複数選択可）** *

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] 国立
- [ ] 公立
- [ ] 私立

6。 **６． 大学（学部・研究科）を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（複数選択可）** *

当てはまるものをすべて選択してください。

- [ ] ① 法学・政治学関係
- [ ] ② 商学・経済学関係
- [ ] ③ 社会学関係
- [ ] ④ 数学関係
- [ ] ⑤ 物理学関係
- [ ] ⑥ 生物関係
- [ ] ⑦ 機械工学関係
- [ ] ⑧ 電気通信工学関係
- [ ] ⑨ 土木・建築工学関係肢
- [ ] ⑩ 応用化学関係
- [ ] ⑪ 農学関係
- [ ] ⑫ 医学関係
- [ ] ⑬ 薬学関係
- [ ] ⑭ 保健学関係
- [ ] ⑮ 食健康科学関係
- [ ] ⑯ 教育学関係
- [ ] ⑰ 自然科学関係
- [ ] ⑱ 人文・社会科学関係
- [ ] その他: _____

ここからは、<u>リーフレット</u> を見ながら回答してください。

（２） 群馬大学において新たに設置しようとしている大学院についてお聞きします。

7。 **【 情報学研究科 】** *

１．群馬大学大学院 <u>情報学研究科 （博士後期課程）</u>が開設された場合、<u>受験を希望</u>しますか。次から一つ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ( ) ① 第一志望 として受験する
- ( ) ② 第二志望 として受験する
- ( ) ③ 第三志望以降 として受験する
- ( ) ④ 受験しない　　質問 *9* にスキップします

（１の設問で①～③を選択した方に質問です。）

8。 **２．群馬大学大学院 情報学研究科 （博士後期課程）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次から一つ選択してください。** *

1 つだけマークしてください。

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

9。 **【パブリックヘルス学環】** *

３．群馬大学大学院　パブリックヘルス学環 （博士後期課程）が開設された場合、受験を希望しますか。次から一つ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ① 第一志望 として受験する
- ② 第二志望 として受験する
- ③ 第三志望以降 として受験する
- ④ 受験しない　　質問 *11* にスキップします

（３の設問で①～③を選択した方に質問です。）

10。 **４．群馬大学大学院 パブリックヘルス学環 （博士後期課程）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次から一つ選択してください。** *

1 つだけマークしてください。

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

11。 **【 医理工レギュラトリーサイエンス学環 】** *

５．群馬大学大学院　医理工レギュラトリーサイエンス学環 （博士後期課程）が開設された場合、受験を希望しますか。次から一つ選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ① 第一志望 として受験する
- ② 第二志望 として受験する
- ③ 第三志望以降 として受験する
- ④ 受験しない　　質問 *13* にスキップします

（５の設問で①～③を選択した方に質問です。）

12。 **６． 群馬大学大学院 医理工レギュラトリーサイエンス学環 （博士後期課程）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次から一つ選択してください。** *

1 つだけマークしてください。

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

13。 **（３） 大学院の教育に関してご意見・ご要望がありましたらお答えください。 （自由記載）**

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。

「情報学研究科」「パブリックヘルス学環」
「医理工レギュラトリーサイエンス学環」（ 博士課程 ）
大学生・大学院生ニーズ調査 結果

群馬大学の学部生 5,032 名、修士課程・博士前期課程の大学院生 953 名、合計 5,985 名を対象として、情報学研究科、パブリックヘルス学環及び医理工レギュラトリーサイエンス学環の博士課程に関するアンケート調査を実施した。調査時期は 2024 年 10 月であり、242 の有効回答を得た（有効回答率 4.0%）。また、群馬県内の公立大学の学部生・大学院生に対して同じアンケート調査への回答協力を依頼して、38 名から有効回答を得た。

いずれのアンケート調査も回答前に、情報学研究科、パブリックヘルス学環及び医理工レギュラトリーサイエンス学環の概要を記したリーフレットを読むように勧めている。

有効回答

群馬大学	(n=166)
共同教育学部学校教育教員養成課程	(n=11)
情報学部情報学科	(n=41)
医学部医学科	(n=20)
医学部保健学科	(n=49)
理工学部物質・環境類	(n=34)
理工学部電子・機械類	(n=11)
高崎経済大学	(n=35)
経済学部	(n=13)
地域政策学部	(n=22)
前橋工科大学	(n=3)
群馬大学大学院	(n=76)
社会情報学研究科	(n=2)
情報学研究科	(n=12)
医学系研究科	(n=14)
保健学研究科	(n=20)
理工学府	(n=22)
医理工レギュラトリーサイエンス学環	(n=4)
パブリックヘルス学環	(n=2)
合計	(n=280)

図 1 有効回答者

【 情報学研究科 】

国立の大学院進学を検討している学生のうち、
情報学研究科博士課程へ第一志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学	(n=166)	3	75.0%	1.8%	
情報学部	(n=41)	3	75.0%	7.3%	学部１年生２名、学部４年生１名
群馬大学大学院	(n=76)	1	25.0%	1.3%	
情報学研究科	(n=12)	1	25.0%	8.3%	修士１年生１名
合計	(n=280)	4		1.4%	

（集計条件）　※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

以下を全て満たす者
・大学院進学を希望している者
・国立を志望している者
・情報学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望している者

図２　国立の大学院進学を検討している学生のうち、
情報学研究科博士課程へ第一志望で入学を希望している者

設置区分を問わずに大学院進学を検討している学生のうち、
情報学研究科博士課程へ第一志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学	(n=166)	3	42.9%	1.8%	
情報学部	(n=41)	3	42.9%	7.3%	学部１年生２名、４年生１名
群馬大学大学院	(n=76)	4	57.1%	5.3%	
社会情報学研究科	(n=2)	1	14.3%	50.0%	修士２年生１名
情報学研究科	(n=12)	3	42.9%	25.0%	修士１年生３名
合計	(n=280)	7		2.5%	

（集計条件）　※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

以下を全て満たす者
・大学院進学を希望している者
・設置区分を問わずに志望している者
・情報学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望している者

図３　設置区分を問わずに大学院進学を検討している学生のうち、
情報学研究科博士課程へ第一志望で入学を希望している者

国立の大学院進学を検討している学生のうち、
情報学研究科博士課程へ第一志望、第二志望又は第三志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学	(n=166)	8	66.7%	4.8%	
情報学部情報学科	(n=41)	8	66.7%	19.5%	学部１年生２名、４年生６名
群馬大学大学院	(n=76)	4	33.3%	5.3%	
社会情報学研究科	(n=2)	1	8.3%	50.0%	修士２年生１名
情報学研究科	(n=12)	3	25.0%	25.0%	修士１年生３名
合計	(n=280)	12		4.3%	

（集計条件）　※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

以下を全て満たす者
・大学院進学を希望している者
・国立を志望している者
・情報学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望、第二志望又は第三志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望又は志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学を希望している者

図４　国立の大学院進学を検討している学生のうち、
情報学研究科博士課程へ第一志望、第二志望又は第三志望で入学を希望している者

【パブリックヘルス学環】

国立の大学院進学を検討している学生のうち、
パブリックヘルス学環博士課程へ第一志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学大学院	(n=76)	1	100.0%	1.3%	
保健学研究科	(n=20)	1	100.0%	5.0%	修士１年生1名
合計	(n=280)	1		0.4%	

（集計条件）
以下を全て満たす者
・大学院進学を希望している者
・国立を志望している者
・社会健康医学又は、公衆衛生学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望している者

※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

図 5　国立の大学院進学を検討している学生のうち、
パブリックヘルス学環博士課程へ第一志望で入学を希望している者

設置区分を問わずに大学院進学を検討している学生のうち、
パブリックヘルス学環博士課程へ第一志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学	(n=166)	1	33.3%	0.6%	
医学部保健学科	(n=49)	1	33.3%	2.0%	学部１年生１名
群馬大学大学院	(n=76)	2	66.7%	2.6%	
情報学研究科	(n=12)	1	33.3%	8.3%	修士１年生１名
保健学研究科	(n=20)	1	33.3%	5.0%	修士２年生１名
合計	(n=280)	3		1.1%	

（集計条件）
以下を全て満たす者
・大学院進学を希望している者
・設置区分を問わずに志望している者
・社会健康医学又は、公衆衛生学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望している者

※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

図 6　設置区分を問わずに大学院進学を検討している学生のうち、
パブリックヘルス学環博士課程へ第一志望で入学を希望している者

国立の大学院進学を検討している学生のうち、
パブリックヘルス学環博士課程へ第一志望、第二志望又は第三志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学	(n=166)	4	80.0%	2.4%	
医学部保健学科	(n=49)	3	60.0%	6.1%	学部１年生２名、２年生１名
理工学部	(n=45)	1	20.0%	2.2%	学部１年生１名
前橋工科大学	(n=3)	1	20.0%	33.3%	学部１年生１名
合計	(n=280)	5		1.8%	

（集計条件）　※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

以下を全て満たす者

・大学院進学を希望している者
・国立を志望している者
・社会健康医学又は、公衆衛生学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望、第二志望又は第三志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望又は志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学を希望している者

図７　国立の大学院進学を検討している学生のうち、
パブリックヘルス学環博士課程へ第一志望、第二志望又は第三志望で入学を希望している者

【医理工レギュラトリーサイエンス学環】

国立の大学院進学を検討している学生のうち、
医理工レギュラトリーサイエンス学環博士課程へ第一志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学	(n=166)	1	50.0%	0.6%	
理工学部	(n=45)	1	50.0%	2.2%	学部１年生１名
前橋工科大学	(n=3)	1	50.0%	33.3%	学部１年生１名
合計	(n=280)	2		0.7%	

※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

（集計条件）
以下を全て満たす者
・大学院進学を希望している者
・国立を志望している者
・医理工学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望している者

図８　国立の大学院進学を検討している学生のうち、
医理工レギュラトリーサイエンス学環博士課程へ第一志望で入学を希望している者

設置区分を問わずに大学院進学を検討している学生のうち、
医理工レギュラトリーサイエンス学環博士課程へ第一志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学	(n=166)	2	40.0%	1.2%	
理工学部	(n=45)	2	40.0%	4.4%	学部１年生１名、３年生１名
前橋工科大学	(n=3)	1	20.0%	33.3%	学部１年生１名
群馬大学大学院	(n=76)	2	40.0%	2.6%	
保健学研究科	(n=20)	2	40.0%	10.0%	修士１年生１名、２年生１名
合計	(n=280)	5		1.8%	

※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

（集計条件）
以下を全て満たす者
・大学院進学を希望している者
・設置区分を問わずに志望している者
・医理工学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望している者

図９　設置区分を問わずに大学院進学を検討している学生のうち、
医理工レギュラトリーサイエンス学環博士課程へ第一志望で入学を希望している者

国立の大学院進学を検討している学生のうち、
医理工レギュラトリーサイエンス学環博士課程へ第一志望、第二志望又は第三志望で入学を希望している者

		該当者数	構成比	該当率※	該当者内訳
群馬大学	(n=166)	11	84.6%	6.6%	
医学部医学科	(n=20)	1	7.7%	5.0%	学部２年生１名
医学部保健学科	(n=49)	1	7.7%	2.0%	学部２年生１名
理工学部	(n=45)	9	69.2%	20.0%	学部１年生３名、２年生４名、３年生２名
前橋工科大学	(n=3)	1	7.7%	33.3%	学部１年生１名
群馬大学大学院	(n=76)	1	7.7%	1.3%	
理工学府	(n=22)	1	7.7%	4.5%	修士１年生１名
合計	(n=280)	13		4.6%	

※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

（集計条件）
以下を全て満たす者
・大学院進学を希望している者
・国立を志望している者
・医理工学に関する分野に興味を持つ者
・第一志望、第二志望又は第三志望として受験を希望している者
・合格時に入学を希望又は志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学を希望している者

図 10　国立の大学院進学を検討している学生のうち、
医理工レギュラトリーサイエンス学環博士課程へ第一志望、第二志望又は第三志望で入学を希望している者

資料３

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

群馬大学では、社会課題を解決する実践力をもつ人材を育成するため、以下の新しい大学院を設置することを検討しています。

・情報学研究科
・食健康科学研究科
・パブリックヘルス学環
・医理工レギュラトリーサイエンス学環

本アンケートは、企業・団体の皆さんの採用に関する考え方、大学院における従業員の学び直しなどの意見をお伺いし、群馬大学大学院の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。

このアンケートで得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、企業・団体を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
※別紙資料の内容は設置構想中のものであり、名称は仮称です。今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

（共有なし） アカウントを切り替える

*必須

（１） はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

① アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度を教えてください。 *

- ○ 採用の決定権があり、選考にかかわっている
- ○ 採用の決定権はないが、選考にかかわっている
- ○ 採用時に直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する

② 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名を教えてください。 *

回答を入力

③ 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。 *

- ○ 農・林・漁・鉱業
- ○ 建設業
- ○ 製造業
- ○ 電気・ガス・熱供給・水道業
- ○ 情報通信業
- ○ 運輸業
- ○ 卸売・小売業
- ○ 金融・保険業
- ○ 不動産業
- ○ 飲食店・宿泊業
- ○ 医療・福祉
- ○ 複合サービス事業
- ○ サービス業
- ○ 公務
- ○ その他

④　貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。 *

- ○ 50名未満
- ○ 50名～100名未満
- ○ 100名～500名未満
- ○ 500名～1,000名未満
- ○ 1,000名～5,000名未満
- ○ 5,000名以上

⑤　貴社・貴団体の過去（例えば３か年）の平均的な正規社員の採用数について、教えてください。（分かる範囲で結構です。）

回答を入力

⑥　⑤のうち、大学院修了者数を教えてください。（分かる範囲で結構です。）

回答を入力

⑦　貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。 *

- ○ 増やす
- ○ 昨年度並み
- ○ 減らす
- ○ 未定
- ○ 採用予定なし
- ○ 見送り（中止）

⑧　貴社・貴団体では、大学院修了生を採用した実績がある場合又は採用を予定している場合、学部卒業生と比較し大学院修了生の専門的知識・能力の高さの違いを期待していますか。 *

- ○ とても期待している
- ○ ある程度期待している
- ○ あまり期待していない
- ○ まったく期待していない
- ○ 大学院修了生の採用は予定していない

次へ　　フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 群馬大学 内部で作成されました。 不正行為の報告

Google フォーム

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

（共有なし） アカウントを切り替える

*必須

ここからは、リーフレットをみながら回答してください。

※リーフレットは以下のURLからアクセスできます。
https://drive.google.com/file/d/12pn7GHw3l21mWFyz4JBLud9ZYy78lH2L/view?usp=share_link

（２）群馬大学において新たに設置しようとしている大学院についてお伺いいたします。

⑨　各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについてどのような印象をお持ちになりましたか。 *

- ○ とても評価できる
- ○ ある程度評価できる
- ○ あまり評価できない
- ○ まったく評価できない

⑩　貴社・貴団体では　、 新たな研究科・学環 を修了した学生について、採用 * したいと思われますか。

	採用したいと思う	どちらかと言えば採用したいと思う	どちらかと言えば採用したいとは思わない	採用したいとは思わない
情報学研究科 社会情報学プログラム	○	○	○	○
情報学研究科 情報科学プログラム	○	○	○	○
食健康科学研究科　食健康科学プログラム	○	○	○	○
パブリックヘルス学環　社会健康医学プログラム	○	○	○	○
医理工レギュラトリーサイエンス学環　重粒子線医理工学プログラム	○	○	○	○

⑪　貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの場として、新たな研究科・学環は候補になると思われますか。 *

	候補になると思う	どちらかと言えば候補になると思う	どちらかと言えば候補になると思わない	候補になると思わない
情報学研究科 社会情報学プログラム	○	○	○	○
情報学研究科 情報科学プログラム	○	○	○	○
食健康科学研究科　食健康科学プログラム	○	○	○	○
パブリックヘルス学環　社会健康医学プログラム	○	○	○	○
医理工レギュラトリーサイエンス学環　重粒子線医理工学プログラム	○	○	○	○

⑫　大学院の教育に関してご意見・ご要望がありましたらお答えください。（自由記載）

回答を入力

戻る　送信　フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 群馬大学 内部で作成されました。 不正行為の報告

Google フォーム

2023 年 1 月 18 日

「情報学研究科」「食健康科学研究科」
「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」
就職先企業ニーズ調査結果

（出口のニーズ調査）

群馬大学大学院修了生の就職先（平成 27 年度～令和 2 年度） 961 社、群馬経済同友会会員企業 267 社、前橋商工会議所会員企業 114 社、合計 1,342 社を対象として、「情報学研究科」「食健康科学研究科」「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」に関するアンケート調査を実施した。調査時期は 2023 年 1 月であり、153 の有効回答を得た（有効回答率は 11.4%である）。

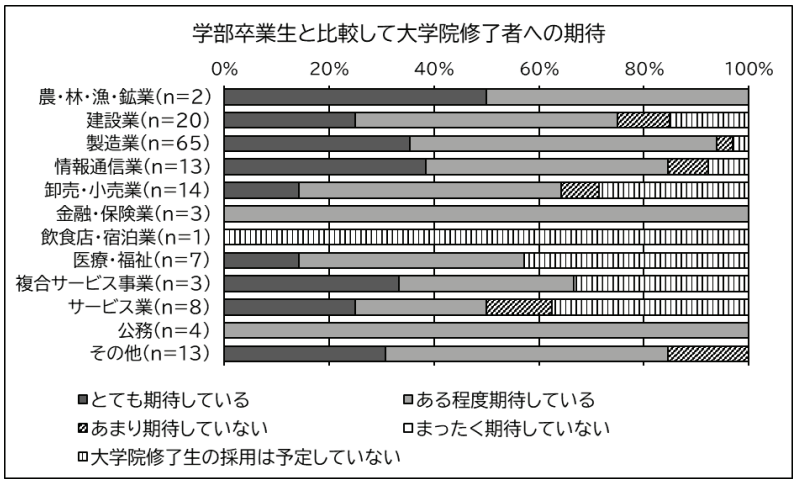


図 1.1 大学院修了生を採用した実績がある場合または採用を予定している場合における学部卒業生と比較して大学院修了生の専門的知識・能力の高さを期待する程度（%）

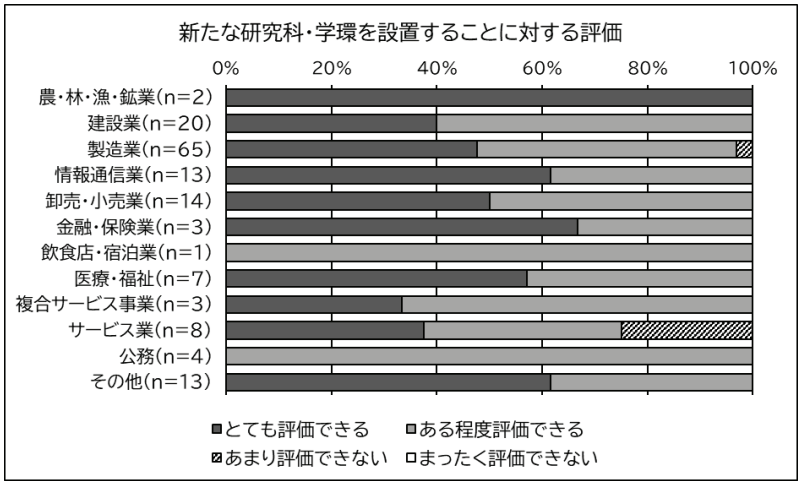


図 2 各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについての評価の程度（%）

図 1 は大学院修了生を採用した実績がある場合または採用を予定している場合における学部卒業生と比較して大学院修了生の専門的知識・能力の高さを期待する程度について、4 件法（「まったく期待していない」「あまり期待していない」「ある程度期待している」「とても期待している」）による回答（別途「大学院修了生の採用を予定しない」という選択肢がある）を回答企業の業種ごとに示したものである。回答者数が 1 社のみであった飲食店・宿泊業を除いて、どの業種においても「ある程度期待している」と「とても期待している」の合計は 5 割以上である。図 2 は各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについての評価の程度を回答企業の業種ごとに示したものである。「ある程度評価できる」と「とても評価できる」の合計はどの業種でも 7 割以上である。概ね大学院生の就職先企業からは高く評価されていると解釈できる。

表 2.1 新たな研究科・学環を修了した学生について「どちらかと言えば採用したい」と「採用したい」の合計（%）

	情報学研究科社会情報学プログラム	情報学研究科情報科学プログラム	食健康科学研究科食健康科学プログラム	パブリックヘルス学環社会健康医学プログラム	医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラム
農・林・漁・鉱業（n=2）	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0
建設業（n=20）	70.0	70.0	40.0	25.0	25.0
製造業（n=65）	73.8	84.6	55.4	50.8	60.0
情報通信業（n=13）	100.0	100.0	69.2	61.5	69.2
卸売・小売業（n=14）	85.7	85.7	64.3	64.3	57.1
金融・保険業（n=3）	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7
飲食店・宿泊業（n=1）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉（n=7）	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9
複合サービス事業（n=3）	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7
サービス業（n=8）	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0
公務（n=4）	100.0	100.0	75.0	75.0	50.0
その他（n=13）	92.3	92.3	53.8	46.2	53.8

表 2.1 は新たな研究科・学環を修了した大学院生の採用に関する 4 件法（「採用したいとは思わない」「どちらかといえば採用したいとは思わない」「どちらかといえば採用したい」「採用したい」）による回答について、「どちらかといえば採用したい」と「採用したい」の合計を回答企業の業種ごとに示したものである。50.0%以上のマス目を白抜きの文字に、30.0%以上 50.0%未満のマス目の背景色をグレーにしている。どの研究科・学環においても、多くの業種で 50%以上の企業が肯定的な回答をしている。とりわけ、情報学研究科社会情報学プログラムと情報学研究科情報科学プログラムでは農・林・漁・鉱業、情報通信業、公務で 100.0%となっていて、また、回答者数が最も多く群馬県内の有力な業種である製造業（n=65）では、すべての研究科・学環が過半数となっていて、新たな研究科・学環に対する期待の高さが窺われる。これらの研究科・学環の修了生は各企業の即戦力として認められることが想定される。

表 2.2 新たな研究科・学環が従業員の学び直しの場の候補になるかどうかについて「どちらかと言えば候補になると思う」と「候補になる」の合計（%）

	情報学研究科社会情報学プログラム	情報学研究科情報科学プログラム	食健康科学研究科食健康科学プログラム	パブリックヘルス学環社会健康医学プログラム	医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラム
農・林・漁・鉱業（n=2）	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
建設業（n=20）	50.0	50.0	25.0	15.0	15.0
製造業（n=65）	67.7	75.4	35.4	36.9	49.2
情報通信業（n=13）	84.6	84.6	23.1	23.1	38.5
卸売・小売業（n=14）	78.6	78.6	50.0	50.0	28.6
金融・保険業（n=3）	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7
飲食店・宿泊業（n=1）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉（n=7）	42.9	57.1	42.9	42.9	42.9
複合サービス事業（n=3）	100.0	100.0	66.7	66.7	33.3
サービス業（n=8）	62.5	62.5	50.0	37.5	25.0
公務（n=4）	75.0	75.0	75.0	75.0	50.0
その他（n=13）	92.3	92.3	61.5	53.8	53.8

表 2.2 は新たな研究科・学環が従業員の学び直しの場の候補になるかどうかに関する 4 件法（「候補になるとは思わない」「どちらかと言えば候補になるとは思わない」「どちらかと言えば候補になる」「候補になる」）による回答について、「どちらかといえば候補になる」と「候補になる」の合計を回答企業の業種ごとに示したものである。50.0%以上のマス目を白抜きの文字に、30.0%以上50.0%未満のマス目の背景色をグレーにしている。情報学研究科社会情報学プログラムと情報学研究科情報科学プログラムでは、ほとんどの業種で過半数の企業が肯定的な回答をしている。食健康科学研究科食健康医学プログラムとパブリックヘルス学環社会健康医学プログラムでは、農・林・漁・鉱業、卸売・小売業、金融・保険業、複合サービス業、公務、その他で、医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラムでは金融・保険業、公務、その他で過半数の企業が肯定的な回答をしている。すべての研究科・学環において従業員を対象とするリカレント教育が期待されていると考えられる。

資料４

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院 医学系研究科 修士課程 の入学説明会（パブリックヘルス学環）

	R５年度入試	R６年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	10人	16人	①取組概要 パブリックヘルス学環（修士課程）および大学院入試に興味のある方を対象にした入学説明会をオンラインにより実施。 説明会用スライドをもって、パブリックヘルス学環の教育研究内容や入学試験について説明。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 入学説明会参加者から入学者がいないので引き続き説明会の周知が必要。
うち受験対象者数(b)	10人	16人	
うち受験者数(c)	0人	1人	
うち入学者数(d)	0人	0人	
（受験率 c/b）	0.0%	6.3%	
（入学率 d/b）	0.0%	0.0%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院 保健学研究科 博士前期課程 の入学説明会（パブリックヘルス学環）

	R５年度入試	R６年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	3人	4人	①取組概要 受験希望者を対象として、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、領域別の教員と研究内容の紹介、在学生の生活(社会人と学生の両立)、入試概要と費用等の入学説明会を実施。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 入学説明会参加者に参加した受験者、入学者が多くいることいることから、説明会は有効である。
うち受験対象者数(b)	3人	4人	
うち受験者数(c)	3人	3人	
うち入学者数(d)	3人	3人	
（受験率 c/b）	100.0%	75.0%	
（入学率 d/b）	100.0%	75.0%	

資料５

戦企第３０６－１３号
令和５年２月２４日

国立大学法人群馬大学長
石　崎　泰　樹　様

群　馬　県　知　事
山　本　一　太

社会健康医学分野の人材育成に関する要望書

貴学におかれましては、本県に立地する国立大学として、地域の知の拠点、地域の教育、医療を担う中核となり、活力ある地域社会の創造、産業の発展、医療福祉の向上に寄与されるとともに、豊かな人間性と高度な専門知識を兼ね備えた優れた人材を育成されていることに対して、心より敬意と感謝を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曽有の事態に直面して３年が過ぎましたが、未だにウイルスという見えない敵との闘いが、厳しい長期戦にならざるを得ない状況が続いており、県民の生命と健康、暮らしを守るために全力を尽くして対応しているところです。

今後も発生が予想される新たな感染症に対して、医療処置だけでなく、その予防などの医療行政面の対応が重要となってきています。このとき、地域ごとの医療資源の分布、人口密度や高齢化の状況、地理的条件が異なるため、感染症の予防と蔓延防止には、それぞれの地域固有の対策が必要であり、医療、介護、保健、産業、市民、行政が協力体制を作るためには、各職種において疫学や公衆衛生学の知識を備えた人材が求められます。

このたび、貴学が設置を検討している社会健康医学分野の大学院教育プログラムは、まさに人類が直面する試練に対応し得るリーダーとなる人材を育成するものであり、人々の健康と福祉を向上させ、県民の幸福度の向上にも資するものですので、本県としても、貴学との連携に大いに期待を持って、早期に実現されることを強く要望いたします。